

前ページの集計結果のように、おおむね、「よくあてはまる」「どちらかというにあてはまる」という回答が得られました。

▲10、11の質問事項に対して、次のような課題をもとに、改善をはかる必要があると捉えています。

- ・インターネットとの関わりへの心配が増している。
- ・家庭学習が習慣化されない実態が見受けられる。
- ・地域での生活の様子、挨拶、登下校のマナー等には心配な姿もみられる。
- ・クラブ活動と地域行事やボランティアへの参加が両立しにくい現状がある。

ご意見に関して (Q→ご質問やご要望等 A→回答)

Q 記名式のアンケートだと本音が言えないのではないかと。

A 昨年度の回答状況からもしっかりと記名がなされ、建設的なご意見を多くいただいています。また、個々にお答えを要するものも寄せられることから、責任をもって回答させていただくため、本年度も記名式にしました。本年度の提出率も80%近い結果となり、保護者の皆様も責任をもって回答を提出して頂いた結果であると捉えています。

Q いじめや不登校など心配です。生徒の気持ちに寄り添って話を聞いてもらえる機会や場所が確保されるとともに、親にできること、先生にできること、クラスでできることを常に考えていくことを大切にしてほしい。

A 悩みアンケート、いじめアンケートを定期的実施し、生活の記録の記載にも気を配り生徒の状況把握に努めています。学校にはほほえみ相談員やスクールカウンセラー、スクール相談員も配置しています。生徒の様子の変化に敏感になり情報交流に努め、ご家庭との連携をさらに強め、生徒が安心できる学校づくりをしていかなければならないと考えています。ご心配なことがありましたら、どうぞ早めに学校の方へ連絡いただければと思います。

Q 地域活動への参加はとても大切です。ボランティアの本来の意味をしっかりと理解させるとともに、地域行事に積極的に参加できる環境をつくってほしい。

A 生徒会を中心としたボランティア活動推進の意識は高まってきており、登校路のゴミ拾い活動の復活がなされました。確かに地域行事とクラブの大会が重なることも少なくありません。その中であって、クラブの活動の一環として、地域行事に参加している動きもあります。また、大会会場を清掃して帰ってくる活動を地道につづけているクラブもあります。自分のできることを実行にうつす意識を大切にしながらボランティア意識を高めていきたいと思っています。

Q 冷暖房が有効に活用され、快適な環境で学習ができるようにしてほしい。

A 冷暖房には、湿度と気温の状況から定めた基準をもとに生徒の健康状況を配慮しながら冷暖房機の利用をしてきました。特に、夏場の除湿機能は効果的でした。しかし、工事の騒音対策として付けられていた冷房装置はこの1月に撤去されました。予算面から、いたしかたない状況がありますが、夏のコバエ対策も含め、今後ますます生活の工夫が必要となってきます。生活リズムや食生活を整え、健康づくりに努め、暑さ寒さを乗り切っていくことをより大切にしていきたいと思っています。職員も日中は生徒と同じ環境下で共に生活することを大切にしています。尚、職員室だけが快適だというご指摘もありましたが、もし、そのように子どもたちが感じているのなら私たちの指導不足と反省いたします。ただし、執務室としての環境を維持することも必要なことと考えています。

Q 基礎中心の授業、応用力をつける授業といった少人数指導(習熟度指導)がさらに充実されていくこと、また数学・英語の両教科での実施を望みたい。

A 中学1年での数学、中学2年と3年生での英語の少人数指導(複数教師による授業、習熟度別の授業)を実施しています。来年度も継続できることを学校も望んでいます。一人一人の学習課題や学び方の特性を把握し、生徒一人一人が充実感を味わえるような授業づくりに努めたいと思います。また家庭学習の習慣化も大切な方途です。今後さらにご家庭と連携しながら改善していきたいものです。

Q ホームページを充実してほしい。子どもを通じて正確な伝達がなされないこともあるので、ホームページを活用した情報伝達の可能性を模索してほしい。

A 今年度はこれまで以上に学校全体の様子をその都度、お知らせさせてもらっています。ホームページは、広くそうした紹介を行うものと考えております。保護者の皆さんへの大切な連絡は、文書や緊急メールで行っていきます。

Q 緊急メールは大変ありがたい。危険な情報は早めに開示して頂きたい

A メールへの登録も大半のご家庭で登録して頂けるようになり、活用の頻度を増やしてきました。緊急連絡には電話との併用をしています。宿泊研修での活動の様子配信を望まれる方もありますが、メールでの連絡は緊急時対応という原則を守っていきます。

朝の登校時、警報が出ていなくても登校の安全が心配されるようでしたら、ご家庭の判断で様子が収まるまで、登校を差し控えていただくことも必要となります。学校が全ての通学路の様子を把握し、午前6時台にメール等でご連絡するのは困難です。ご協力の程、よろしくお願い致します。

Q 学校報の発行が遅く、翌月はじめの行事予定が把握できないので改善をお願いしたい。

A できるだけ正確な行事予定をお知らせしようと、月末の発行を行ってきましたが、ご指摘をいただいてから、前月の25日に発行ができるように改めさせていただきました。原則は、PTA総会時に配布する年間計画に沿って実施しておりますが、修正等が生じることもありますのでご了承ください。不明な点はお気軽に、お尋ね頂きますようお願いいたします。

Q 部活動とクラブの連携方法を学校として考えてください。

A クラブ員しか試合に出られない現状、部活動顧問のクラブ活動への関わり方、平日のクラブ実施時の問題点、学校行事とクラブ活動との関連・・・といった様々な問題点や悩みが寄せられています。また、学校規模による運営上の問題点の違いなど多治見市全体として考えなければならないことも出てきています。現在、連合PTAでも会議を重ねられ改善の要望も出されています。学校としては、全員加入となっている部活動の充実を図ることを基盤にしてクラブ活動との連携を考えていきます。陶都中はクラブ長会が定期的に行われているので、この会を中心にして連携を図っていくことを進めます。

Q 学校行事について・・・「体育祭は土日開催がありがたい。合唱祭はの時期を11月くらいにできないものか。授業や行事の時間が削られないように、三者懇談は昨年度までのように夏休み実施でいいのでは。」「行事の進行は、時間通りの運営をお願いしたい」など具体的なご意見ご要望をいただきました。

A 体育祭の今年度からの平日開催は、他校との連携も含め数年前からPTA執行委員会にもお諮りして実施させていただきました。改めてご了解いただきたいと思えます。体育祭・合唱祭は生徒にとっても二大行事として位置付き、大切にしてきた行事です。しかしながら、生徒にとっても負担が増していることも懸念されてきました。東濃一の大規模校としてさらに生徒数も増えていく中で、平成28年度は行事を大きく見直す時にきたととらえています。調整がつき次第、またお知らせします。

Q PTA行事に関して・・・「挨拶を大切にする意識に差がある。地域でのあいさつの様子や登下校のマナー、また不審者など防犯面からも心配な状況はある。保護者の立ち当番の復活が必要ではないか」「親の交流ができるように、講演会を増やしてほしい」「資源回収は2回実施できるとよかった。」「環境美化活動は回数を増やしてもいい。」といった意見が寄せられています。

A 平成28年度のPTA行事計画において、検討事項としていきます。

「便利な生活」と「お手伝い」

多治見市教育委員会

親育ちコーナー

「10年ひと昔」という言葉をあまり使われなくなるほど、生活の変化が速くなっている気がします。また、大人も子どもも「便利な生活」に慣れてしまっています。この便利さの先にある生活は、私たちにとってどんなことをもたらすのでしょうか。良いことも心配なことも両面あるように感じます。

さて、「子どもが家庭にもっと望むこと」に、「家族のみんなが楽しく過ごすこと（※文科省「家庭教育手帳」より）」があります。便利な生活が、場合によっては人とのかかわりを少なくして、子どもから楽しさを奪っていることもあるのではないのでしょうか。

子どもは家庭の中で「お手伝い」をしていますか。一緒に手足を使って家事をすることも家族のみんなが楽しく過ごすことや、子どもが「自分は家族の役に立っている」という気持ちにつながることもあります。子どもと「お手伝い」について話しあってみましょう。

